



新潟の水辺だより

Vol.56

●編集発行 特定非営利活動法人新潟水辺の会 ●発行日 2002年9月20日 Vol.56

雑感 NPO法人になって

新潟水辺の会は2002年2月19日に新潟県の認証を受け、3月6日に法人登記を終えて特定非営利活動法人（NPO法人）になりました。NPO法人になりたては、はやほやの水辺の会について、法人になって何がどう変わったのかを論じるのは少々早すぎるのではと思いますが、この間感じている事を2~3書いてみます。

まず第1点は広がる活動ステージと会員間の合意づくりとルールづくりについてです。

今年の夏7~8月にかけて阿賀野川・磐越道連携会議から生まれた「阿賀野川流域子ども交流会」の取り仕切り、7月末の「夢海岸フェスティバル」、8月25日の「信濃川フェスティバル」でのEポート大会への協力など、国や県の出先機関や新潟市とのパートナーシップでの開催行事がひしめきました。動ける会員が少ない中で、フル回転で対応しなければならない状態でした。それぞれの催しでの水辺の会の位置付けが異なり、これに会員の好みが変わり、会としての関わりに濃淡が出てきています。催しへの関わり-会の力の出し具合-会員の参加努力などについて、会員相互の合意形成に向けてのルール作りに一歩踏み込んだ工夫が必要な時期に来ているのではないかと思います。

第2点は、継続と安定・安心についてです。

水辺の会自体がNPO支援組織や連合体的なところがあり、関わる事業が広がってきて

います。新潟NPO協会への参加、通船川・栗ノ木川ルネッサンスの子供環境会議や総合学習への協力、行政とのパートナーシップによる催し物、受託事業などは、当然相手がある話です。水辺の会内部のあるいは独自のものであれば、ポカも楽しい、後退も許されるのですが、対外的なものは責任が伴います。関わりの継続と安定的な実行、安心が持てる実施体制をどう維持していくのかについて、心掛ける必要があるようです。NPOは効率や利潤とは少し距離を置いています。この中で持続のエネルギーをどう立体的に作るのがポイントと思っています。

第3点は会員の生業と会の活動の関係についてです。

このことについては、前向きな解決方法を作り出す会員相互の知恵の出し合いだと考えています。

以上のような課題をこなしながら、一方で「人間としての誇りを軸に活動を楽しむ」（大熊著 水辺だより54号）を大切にすることを中心にすすめているのが水辺の会だと思います。

身の丈に応じ、大胆に楽しく活動しながら、世の中の仕組みを作り替えていく作業の一端を担うNPO法人を目指すのが水辺の会ですと言えたいものですね。

進 直一郎

● 水辺の会の川舟、カワセミ号が完成したよー

全長8.2m、幅80cm、高さ30cmの川舟「板合せ(いたわせ)」が7月末にできました。高橋裕雄世話人のアイデアで幅を広げ安定した舟になりました。

会のシンボルマークのカワセミ号とし8月25日の信濃川フェスタ、Eボート大会での進水テストでお披露目となりました。

五十嵐 實会員経営のキャリアテクニカ専門学校のグラウンドで維持管理のためみんなでFRP塗装をしました。



信濃川Eボート大会で板合わせ進水テスト。
星島船頭懐かしそうにスイスイ。



高橋裕雄世話人の指導でみんなでFRP塗装

今後は通船川河口山ノ下閘門付近に置かせて頂くため交渉中です。用途を川の再生まちづくりのシンボルに。老船頭師の掘り起こしに。川からまちを再発見するために。学校教育の舟に。などなど大きな役割が期待されています。

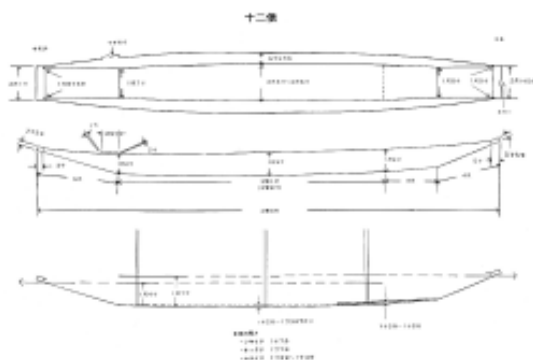
櫂やライフジャケットなどで80万円、資金はこしじ水と緑の会の助成金30万円を基礎に「板合せ舟基金」の募金を始めています。現在個人から54口、団体から100口の寄金が寄せられています。あなたも1口1千円で、オーナーになれます。ぜひカンパにご協力ください。

文：相楽 治 写真：加藤 功



※ 中川造船所の中川社長と注文した板合せ

阿賀野川と信濃川をつなぐ小阿賀野川左岸に造船所はある。かつては木造船を沢山造っていたが需要が変わり鉄板の砂利舟製造が主となっている。先代の造っていた木造船を思い出しつつ川舟板合せを造り、水辺の会のカワセミ号が4艘(ハイというらしい)目である。材料の入手、保管で時間がかかるという。



予算書		
支出予定額	板合わせ造船費	600,000
	FRP塗装費	50,000
	權制作費 10本	50,000
	ライフジャケット10着	70,000
	保管シート&ロープ	30,000
	計	800,000
収入見込み額	こしじ水と緑の基金から	300,000
	8月までの寄金 54口	54,000
	つくりルネッサンスから寄金	100,000
	寄金お願い分	346,000

9月1日現在、建造とFRP塗装が終わり活用直前。もう少し資金が不足しています。ご協力願います。寄付者は船主として特別なものではありませんが”川再生の舟”の応援者として記録されます。

あなたも船主に！川舟「板合せ」基金のお願い
 = 老船頭師から未来の船頭師のこどもたちへつなぐ舟 =



一口・1,000円を同封の振り込み用紙で振り込んで頂ければ幸いです。何口でもうれしいです。

郵便口座名義：「新潟水辺の会 00640-5-12015」

NPO法人 新潟水辺の会

事務局：〒950-0024

新潟市河渡2-2-8

TEL.FAX 025-270-9207

担当：相楽 治 SAGARA osamu

携帯：090-4010-4313

E-mail: osagara@seagreen.ocn.ne.jp



開会式の様子



開会式まえの腹ごしらえ

まちの川三人組

「川の日」ワークショップに飛び込む

平成 14 年 7 月 13 日 14 日 国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた 第5回「川の日」ワークショップに、通船川 松崎地区「まちの川」ワークショップの成果をもって、全 7 回参加（皆勤賞）の小学生三人組（牡丹山小学校六年生 植木・田辺・皆川くん）が発表してきました。



全部の紙芝居が終わらないうちに「無情のベル」で途中ストップ、大人も子どもも区別がありません。

この後が、審査員から質問「お菓子が一番楽しみだったと発表したけど、川に何を提案したの」に回答できず硬直。[かわいそうだけど引率者は助け舟が出せません]

それでも、なんとかきりぬけて、審査では

- ・子どもがいきいきする川にしてほしい
- ・十年後がたのしみです
- ・ぼくらが主役の川にしてほしい などの意見がだされ、予選 G グループ 7 団体の 4 番目で、上位 2 団体が二次審査に推薦されました。

二日目の敗者復活戦にそなえて、夜の懇親会に出席した子どもたちは、参加者や運営委員に盛んにアピール。復活戦でも、ポスターを掲げ、大きな声で「よろしくお願いま～す!!!」を連呼しました。甲斐あって二票を獲得しましたが、五票以上の団体が選出され、ここでも涙を吞みました。今後とも通船川・栗ノ木川をかわいがってください。

新潟土木事務所 計画調整課 Tel 025-231-8328 メール t08105c3@mail.pref.niigata.jp

引率で行った新潟土木事務所計画調整課 長沼 則次さんから寄稿いただきました。ありがとうございました。

「通船川物語」初出版



「通船川」は現在でも、「汚い」「臭い」「危険」の3Kの代名詞がついた川です。治水面では重要な川なのですが、新潟市民にとっては存在の薄い川となっています。

また、信濃川や阿賀野川については、多くの資料と研究者による幾多の出版物が出ているのに対し、これまでに通船川だけを取り上げた本は一冊もありませんでした。

今回、通船川を再生して街づくりに反映したいと願う仲間（6名の編集委員）の織手の協力を得て、通船川の歴史の縦糸と、「財団法人こしじ水とみどりの会」様の助成金の横糸を紡ぎあって、ようやく『通船川物語』が出来上がりました。（A4判87ページ）

都市排水河川となり、「虐げられた通船川」ですが、この川と生き物と自然は「シブトク生き続け」、私達に「安らぎ」と「憩い」、「癒し」を黙って与え続けている「魅力のある川」です。機会を見つけて読んで下さい。（在庫僅少です）

通船川・栗ノ木川ルネッサンス
加藤 功

毎月11日は ジャスコ新潟東店でお買い物

8月よりジャスコ新潟東店が行っている活動団体支援事業の一つに参加しました。毎月11日にジャスコで買物すると黄色いレシートが出ます。

そのレシートを支援する活動団体のボックスに入れると金額の1パーセントが商品として団体に還元されます。

皆様も11日にジャスコで買い物をしたら、黄色いレシートを水辺の会の箱へ入れて下さい。

世話人 森本 利

信濃川ウォーターシャトル 2号船「ベアトリス号」就航



7月20日、新潟市万代島で当会の栗原 道平世話人が代表の信濃川ウォーターシャトル（株）の水上バス2号船「ベアトリス号」の進水式が行われました。ラテン語で「幸福をもたらす女」という意味だそうです。1号船の「アナスタシア号」とほぼ同じですが、車椅子専用のスペースを後部デッキ上に設けるなど小型船としては全国初の「交通バリアフリー法」適応船になりました。2隻になったことにより万代島から「新潟ふるさと村」まで約50分（帰りは40分）、1日6往復12便の定期運航になりました。喫水を浅くしたため、信濃川上流の長岡市までや小阿賀野川も航行が可能だそうです。水都新潟のシンボルとして活躍を期待します。

世話人 森本 利

Information

イベント情報

主催・共催事業
佐潟ハス採り大会

と き：10月6日(日) 10:30~13:00

ところ：佐潟公園芝生広場

参加費：300円

内 容：ハス採り、天ぷら試食会

持ち物：軍手、タオル、着替え、長靴

主催者：NPO法人新潟水辺の会

電 話：025-211-0010 相楽、森本

北陸の水路(堀や川)を巡る旅

と き：11月23日(土・祝)~24日(日) 1泊2日

七尾市、金沢市、富山市の見学

参加費 2万円程度、定員20名

問い合わせ・申し込み 森本 利 電話090-1613-1879

主催：堀割再生物語プロジェクト実行委員会

共催：NPO法人新潟水辺の会

水辺シンポジウム、忘年会

と き：12月7日(土) 13:00~16:00

ところ：新潟市万代市民会館または東地区公民館

参加費：未定 内 容：シンポジウム

主催者：NPO法人新潟水辺の会

電 話：025-270-9207 水辺の会事務局

協力事業

第6回新潟県環境NGO大会

と き：9月27日(金)28日(土) 10:00~17:00

ところ：ハイブ長岡、リリックホール

参加費：無料(プレゼント有り)

内 容：エコ・フェスティバル

ハイブ長岡(県内環境NGOのポスター展示)

リリックホール

(新潟県環境賞受賞者や県内環境NGOの活動発表)

主催者：新潟県環境NGO大会実行委員会

電 話：025-285-5511(内線2699)

開港5都市景観まちづくり会議函館大会

と き：10月18日(金)13:00~20日(日)

ところ：函館市芸術ホールほか 参加費未定

主催者：開港5都市景観まちづくり会議函館大会実行委員会

電 話：0138-21-3389 函館市都市デザイン課

堀割まちあるき「にいがたの堀を探る！」

と き：10月26日(土)、11月17日(日) 09:00~12:15(予定)

集合場所：新潟市中央公民館参加費：無料

主催者：堀割再生物語プロジェクト実行委員会

問い合わせ：事務局 高橋 電話025-278-9815

編集後記

最近、新潟市内で堀割再生とレンタサイクル、さらに寺町からのまちづくりにかかわっています。

かつて他門川の再生を提案した頃に入会したという縁もあり、堀の再生は本来事業と思っています。10月26日(土)上、中、下の三班に別れて堀のまちあるきを予定しています。

新潟市から借り受けた放置自転車を100台再生利用したレンタサイクルは、4月末から8月末の間で5,000回転以上利用されました。プレートをつけすっかり新潟の足となった自転車を商店街ややすらぎ堤でよく見かけるようになりました。

8月13日の夜、西堀のあかりイベントは圧巻で、なんと24ヶ寺で240個のあかりをつけました。堀のあった場所、レンタサイクル受付も入り情報満載の寺町マップ Ver.2は大好評で、新潟市の中央公民館で100円カンパで入手できます。

編集鳥 高橋 正良

mtakahashi@southernwind.co.jp

入会申込書

年 月

フリガナ 氏 名		男・女 歳
特技や 水辺への想い		メールアドレス
住 所	〒 () -	
職 業		
勤 務 先	〒 () -	

注)紙面の都合上、縮小しています。
250%程度拡大コピーをしてご使用下さい。

入 会 案 内

この会は、遊び心半分・真面目心半分で活動しています。ウォッチングには、家族ぐるみで子供達も一緒に参加したりしています。

自分の足で水辺を歩くなりして、自分でも感じたことから、自分の水辺を発見していく、あるいは考えていくことを大切にしています。

今までとは違った視点から、あらためて自分の身の回りに目を向けて見ると、同じものを見ているのに今までとは違うものに見えてきます。新しい発見があります。自分の世界もまた少し広がってきます。

この会も色々な分野の人達が集まって、それぞれの世界がもっと広がっていくような出会いの場を提供できる会にしたいと考えています。あなたの参加お待ちしております。

■設立年：1987年10月15日 ■目的：水辺に関わる自然、歴史、文化、生活、風俗、スポーツ、レクリエーション並びに科学技術を探り、これからの水辺の望ましい姿を考え、地域の生活向上に寄与することを目的とする。 ■代表者：代表 大熊孝(新潟大学工学部教授) ■会員数：個人160名・法人10団体(2002年09月現在) ■活動：水辺シンポジウムの開催/水辺ウォッチング/会報「新潟の水辺だより」の発行/水辺環境整備に関する学習会/長野県富山県の水辺グループとの交流会/通船川、佐潟の調査・研究etc.

■年会費：個人会員一口1,000円を2口以上、賛助会員(法人など)一口5,000円を2口以上

●発行：特定非営利活動法人 新潟水辺の会

●事務局：〒950-0024 新潟市河渡2-2-8

Phone 025-270-9207

Fax 025-270-9207

e-mail: mizubenokai@southernwind.co.jp

ホームページ

http://www.niigata-mizubenokai.or.jp/

(アドレスが変更になりました。)